

《担当者名》○高橋祐輔 池森康裕（看） 高橋由紀（看） 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近
小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司 齋藤靖弘（特別講師）

【概 要】

医療現場では、些細なミスやその重なりが過誤または事故に繋がる可能性がある。医療現場のみならず過去に発生した様々な事故案件を知り、当時の分析やその後の対応状況などを学ぶことで、実際に目前にある危機を予測したり、予防したりするための洞察力を育み、自らの危機予防能力を高め、現実世界で様々遭遇する事例に対して備える事を目標にする。また、臨床検査業務を行う各検査室での過誤と対処法を学び、自分と患者様の安全を確保するための考え方や対処法を養う。特に、採血室での過誤と対処法に関連し、正しい採血方法を習得することも目標とする。本演習では、歩行困難患者や車いす使用患者の誘導・移動介助、採血法、一次救命救急の実習を行い、採取者および患者両面の立場・気持ちを理解すると共に、技術習得を目指す。

【学修目標】

- 1) 高い倫理性を基に歩行困難患者の特性を理解し、その誘導・介助方法を説明し、実践できる。
- 2) 臨床検査に必要な知識と技術として、採血の方法や注意点を説明できる。
- 3) 採血業務に関する進歩や変化を学び、それらを説明できる。
- 4) 採血に関する様々な問題を分析し、解決と説明ができる。
- 5) 一次救命救急の重要性を理解し、その方法について説明、実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	車椅子の基本操作とリスク理解	・安全な車いすの基本操作と移動・移乗方法	池森康裕
2	患者の移動と移乗実習（Aクラス）	・車椅子使用患者の安全な検査用ベッドへの移動・移乗方法（グループ実習）（体験の感想共有）	池森康裕
	身体に障がいを伴う高齢者理解（Bクラス）	高齢者疑似体験を通して事故リスクを理解する。（体験の感想共有）	高橋由紀
3	身体に障がいを伴う高齢者理解（Aクラス）	高齢者疑似体験を通して事故リスクを理解する。（体験の感想共有）	高橋由紀
	患者の移動と移乗実習（Bクラス）	・車椅子使用患者の安全な検査用ベッドへの移動・移乗方法（グループ実習）（体験の感想共有）	池森康裕
4	身体障がい者の歩行介助（Aクラス）（Bクラス）	・歩行困難患者のリスクマネジメント（演習）	池森康裕
	要介護高齢者の事故リスク（Bクラス）（Aクラス）	・高齢者の生活環境から考えるリスクマネジメント（演習）	高橋由紀
5 6 7	採血法	・シリンジ採血の手技（グループ実習） ・採血管の取扱法 ・血液検体の取扱法 キーワード：消毒、神経走行、迷走神経反射 グループ実習	高橋祐輔 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
8 9 10	採血法	・真空採血の手技（グループ実習） ・血清の分離と取扱法 キーワード：陰圧、ホルダー、リキャップ、針刺し グループ実習	高橋祐輔 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
11) 13	採血法	・翼状針を用いた採血手技（グループ実習） キーワード：ルアー型、ストッパー、プロテクター、 ウィング	高橋祐輔 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
14) 15	救急医療	・一次救命救急の実習（グループ実習） キーワード：一次救命、AED	沖野久美子 幸村 近 小野誠司 高橋祐輔 坊垣暁之 齋藤靖弘（特別講師）

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験 60% 課題レポート 40%

【教科書】

各実習に際し、実習書を配布する。

医療安全管理学で配布したレジュメを使用する。

【参考書】

諏訪部章 他 編「最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版」 医歯薬出版 2023年

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「臨床検査技師のための医療安全管理教本 第1版」じほう 2017年

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「検体採取者のためのハンドブック 第1版」じほう 2016年

【備考】

1～4回目と14～15回目は、動きやすい服装と実習用の靴で受講してください。スカートやヒールの高い靴では受講できません。

【学修の準備】

次回の授業内容およびキーワードについて、教科書を読み理解しておくこと(60分)

授業終了後に提示した課題の実施またはレポート作成をすること(60分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

高橋祐輔（臨床検査技師）、池森康裕（介護福祉士）、高橋由紀（介護福祉士）、吉田 繁（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）、坊垣暁之（医師）、丸川活司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、幸村 近（医師）、小野誠司（臨床検査技師）、沖野久美子（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、齋藤靖弘（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、基本的手技から臨床検査の過誤まで、実践的指導を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している